

酒匂川水系の鳥類記録

日比野 義介

Gisuke Hibino: Records of Birds in Sakawagawa River System of Western Kanagawa Prefecture

はじめに

狩川周辺の鳥類記録について、1983年から2004年までの間の調査結果を報告した(日比野, 2006, 2008)。この記録は狩川周辺区域を概観したものであったので、酒匂川の扇状地である足柄平野の広い区域の鳥相を明らかにすることを目的に酒匂川とその支川、狩川をラインセンサス法に準じて調査を行った。酒匂川については、2002年から2009年の8年間で、狩川については、2005年から2009年までの5年間の記録と併せてまとめたので報告する。

調査地の概要

調査を行った酒匂川とその支川の狩川は、足柄平野を流下する2級河川で、酒匂川は、富士山麓と箱根外輪山を源流とする流域面積約582km²、流路延長46kmの河川である(神奈川県松田土木事務所, 2011)。調査区域の始点の南足柄市大口橋から新十文字橋上流区域まではほぼ東に流れ、ここから流路を南にとって途中川音川、狩川と合流し、相模湾に注いでいる。調査区域内の沿川環境は、左右岸ともに堤防が整備されており、右岸堤防上はサイクリング道路として利用されている。飯泉橋下流の地域は都市化が進み、河川内はスポーツ広場等に利用されている。支川の狩川は、箱根外輪山を源流とし、流域面積約71km²、流路延長16kmで、小田原市扇町5丁目地先の河口から約3km地点で酒匂川と合流している(神奈川県松田土木事務所, 2011)。沿川環境は、箱根外輪山が隣接する地域は里山の環境を保っている。堤防が整備されている地域では水田が減少し、主に住宅地としての開発が進んでいる。

調査方法

酒匂川では南足柄市大口広場から小田原市富士道橋まで約6.5kmの右岸堤防上のA～Dの4区画と小田原市飯泉橋から河口まで約2.5kmのE～Fの2区画の右岸をそれぞれ調査ルートと定め、狩川では主に右岸堤防上を南足柄市小川口橋から酒匂川との合流点まで約

10.6kmをG～Iの3区画に分けて(図1)それぞれの区画ごとに確認した種を記録した。調査は毎月1回、晴天又は曇天の日の早朝に、酒匂川においては大口橋から右岸堤防上を富士道橋まで及び狩川合流点から右岸を河口まで、狩川においては小川口橋から酒匂川との合流点まで、双眼鏡(7×42B)を携えて時速3～4km程度の速さで移動し姿及び鳴き声を確認した。

結 果

確認した鳥種の一覧は表1のとおりである。和名、学名、配列は日本鳥類目録改訂版第6版(日本鳥学会, 2000)に準じ、渡りの区分については20世紀神奈川の鳥(日本野鳥の会神奈川支部, 2002)を、希少種については神奈川県レッドデータ生物調査報告書(加藤ほか, 2006)を参考にカテゴリーを記した。観察頻度については、ほぼ毎月観察したものを普通(○)、隔月程度に観察したものを時々(△)、年に1回程度観察したものをまれ(×)と区分した。

酒匂川

酒匂川における年間確認種数は96種で、最大は2008年の71種、最小は2003年及び2005年の62種であった(図2)。8年間の平均月別種数は1月が最大で、9月が最小であった(図3)。調査区域毎で確認種数が多かったのは、F区域の58種、次いでE区域の56種であった(図4)。特に、F区域において絶滅危惧種のクロサギ、国の天然記念物(文化財保護法(昭和25年法律第214号))のコクガンを確認した。

確認個体数が多かったカモ類は、大口広場付近、新十文字橋上流(開成町吉田島地先)、栢山頭首工(開成町吉田島地先)、報徳橋下流(小田原市栢山地先)、富士道橋上流(小田原市中曽根地先)、飯泉堰の水域とその直下及び河口において群れを形成していた。

狩 川

狩川における年間の総確認種数は82種で、最大は2007年の65種、最小は2009年の55種であった(図5)。5年間の平均月別種数は、1月及び2月が最大で、



図 1. 調査地の概要.

表 1. 確認された鳥類

科名	和名	学名	渡りの 区分	レッドデータ 等の区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	確認区域	
カイツブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>	留鳥		○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	A,B,C,E,F,G,H,I	
	ハジロカイツブリ	<i>Podiceps nigricollis</i>	冬鳥			×										×	F	
	カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus</i>	冬鳥		×			×	×		×	×	×	×	×	×	F	
ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>	留鳥		○	○	○	○	○				○	○	○	○	A,B,C,D,E,F,G,H,I	
サギ	ゴイサギ	<i>Nycticorax nycticorax</i>	留鳥	減少種					○	○	○	○					E,F,I	
	ササゴイ	<i>Butorides striatus</i>	夏鳥	減少種				△	△	△	△	△					E,F,I	
	アマサギ	<i>Bubulcus ibis</i>	夏鳥	減少種					×		×	×	×				C,I	
	ダイサギ	<i>Egretta alba</i>	留鳥	減少種	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A,B,C,D,E,F,G,H,I	
	コサギ	<i>Egretta garzetta</i>	留鳥	減少種	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A,B,C,D,E,F,G,H,I	
	クロサギ	<i>Egretta sacra</i>	留鳥	絶滅危惧種											×		F	
	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A,B,C,D,E,F,G,H,I	
	コクガン	<i>Branta bernicla</i>	冬鳥	国の天然記念物	×												F	
	マガン	<i>Anser albifrons</i>	冬鳥			×	×										D	
	コハクチョウ	<i>Cygnus columbianus</i>	冬鳥		×	×											B,C,D	
カモ	オンドリ	<i>Aix galericulata</i>	冬鳥	希少種						○			○	○	○	○	A	
	マカモ	<i>Anas platyrhynchos</i>	冬鳥		○	○	○	○	○	○				○	○	○	A,B,C,D,E,F,G,H,I	
	カルガモ	<i>Anas poecilorhyncha</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A,B,C,D,E,F,G,H,I	
	コガモ	<i>Anas crecca</i>	冬鳥		○	○	○	○	○	○				○	○	○	A,B,C,D,E,F,G,H,I	
	トモエガモ	<i>Anas formosa</i>	冬鳥		○	○	○	○	○					○	○	○	A,B,D,E,F,G,H,I	
	ヨシガモ	<i>Anas falcata</i>	冬鳥		○	○	○	○	○					○	○	○	E,F,I	
	オカヨシガモ	<i>Anas strepera</i>	冬鳥		○	○	○	○	○					○	○	○	D,E,F,I	
	ヒドリガモ	<i>Anas penelope</i>	冬鳥		○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	E	
	アメリカヒドリ	<i>Anas americana</i>	冬鳥			×					×	×			×		D,E,G,I	
	オナカガモ	<i>Anas acuta</i>	冬鳥		○	○	○	○	○				○	○	○	○	E	
	ハシロガモ	<i>Anas clypeata</i>	冬鳥		○	○	○	○	○						○	○	E,I	
	ホシハシロ	<i>Aythya ferina</i>	冬鳥		×	×								×		×	F	
	キンクロハシロ	<i>Aythya fuligula</i>	冬鳥		×	×	×	×							×	×	D,E,F	
	スズガモ	<i>Aythya marila</i>	冬鳥			×											E	
	ホオジロガモ	<i>Bucephala clangula</i>	冬鳥				×	×									F	
	カワアイサ	<i>Mergus merganser</i>	冬鳥		○	○	○										○ A,B,C,D,E,H,I	
	タカ	ミサコ	<i>Pandion haliaetus</i>	留鳥		○	○	○	○		○			○	○	○	○	C,D,E,F,I
		トビ	<i>Milvus migrans</i>	留鳥	減少種	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ A,B,C,D,E,F,G,H,I
		オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>	留鳥	希少種	△											△	B,H,I
		ノスリ	<i>Buteo buteo</i>	留鳥			×							×				F,I
チョウゲンボウ		<i>Falco tinnunculus</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ E,G,H,I	
ハヤブサ	キジ	<i>Phasianus colchicus</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	A,B,C,D,F,G,H,I	
クイナ	クイナ	<i>Rallus aquaticus</i>	冬鳥		×	×											I	
	バン	<i>Gallinula chloropus</i>	留鳥	減少種	○	○	○	○	○					○	○	○	H,I	
チドリ	オオバン	<i>Fulica atra</i>	冬鳥		○	○	○	○	○					○	○	○	B,E,F,H,I	
	イカルチドリ	<i>Charadrius placidus</i>	留鳥	減少種	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ A,B,C,D,E,F,G,H,I	
シギ	ムナグロ	<i>Pluvialis fulva</i>	旅鳥					×									D	
	タゲリ	<i>Vanellus vanellus</i>	冬鳥		×												C	
	クサシギ	<i>Tringa ochropus</i>	旅鳥			×		×								×	G,I	
	タカフシギ	<i>Tringa glauca</i>	旅鳥						△			△			△		B,G	
	キアシシギ	<i>Heteroscelus brevipes</i>	旅鳥	減少種			△		△				△				A,E,F,G	
カモメ	イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>	留鳥	減少種	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ A,B,C,D,E,F,G,H,I	
	タンシギ	<i>Gallinago gallinago</i>	冬鳥	減少種	△	○	○	△	△				△	△	△		E	
	ユリカモメ	<i>Larus ridibundus</i>	冬鳥		○	○	○	○	○				○	○	○	○	○ E,F,H,I	
	セグロカモメ	<i>Larus argentatus</i>	冬鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ E,F,H,I	
	ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>	冬鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ E,F	
ハト	コサシサシ	<i>Sterna albifrons</i>	夏鳥	絶滅危惧種				△	△	△	△	△	△	△			C,D,E,F	
	シジハト	<i>Streptopelia orientalis</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ A,B,C,D,E,F,G,H,I	
アマツバメ	ヒメアマツバメ	<i>Apus affinis</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	B,C,D,F,I	
カワセミ	アマツバメ	<i>Apus pacificus</i>	夏鳥											×			B,I	
	ヤマセミ	<i>Ceryle lugubris</i>	留鳥				×			×						×	A,B	
キツツキ	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>	留鳥		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○ A,B,C,D,E,F,G,H,I	
	アリスイ	<i>Jynx torquilla</i>	冬鳥		×			×									E,F	
ヒバリ	コガラ	<i>Dendrocopos kizuki</i>	留鳥		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○ G,H	
	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ B,C,E,I	
ツバメ	ツバメ	<i>Hirundo rustica</i>	夏鳥					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ A,B,C,D,E,F,G,H,I	
	コシアカツバメ	<i>Hirundo daurica</i>	夏鳥	減少種			△	△	△	△	△	△	△	△			E,I	
セキレイ	イワツバメ	<i>Delichon urbica</i>	夏鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ B,E,F,G,H,I	
	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ A,B,E,F,G,H,I	
	ハウセキレイ	<i>Motacilla alba</i>	冬鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ A,B,C,D,E,F,G,H,I	
	ホオジロハウセキレイ	<i>Motacilla alba leucopsis</i>	留鳥		×												I	
	セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>	冬鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ A,B,C,D,E,F,G,H,I	
ヒヨドリ	ビンズイ	<i>Anthus hodgsoni</i>	留鳥			×											B,G	
	タヒバリ	<i>Anthus spinoletta</i>	冬鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ A,E,F,H,I	
	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ A,B,C,D,E,F,G,H,I	
	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ A,B,C,D,E,F,G,H,I	
	カワガラス	<i>Cinclus pallasi</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ A,G	
ツグミ	ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>	留鳥				×										○ A,B,C,D,E,F,G,H,I	
	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureoreus</i>	冬鳥		○	○	○	○					○	○	○	○	○ E,F,G,H,I	
	ノビタキ	<i>Saxicola torquata</i>	旅鳥											○	○	○	A,F,G	
	インヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ B,F,G,H	
	トラツグミ	<i>Zoothera dauma</i>	留鳥													×	F	
ウグイス	アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>	冬鳥			×											A,G	
	シロハラ	<i>Trudus pallidus</i>	冬鳥		×												G	
	ツグミ	<i>Turdus naumanni</i>	冬鳥		○	○	○	○	○						○	○	○ A,B,C,D,E,F,G,H,I	
	ウグイス	<i>Cettia diphone</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○					○ A,B,F,G,H,I	
	オオヨシキリ	<i>Acrocephalus arundinaceus</i>	夏鳥	減少種				○	○	○	○	○					C,D,E,F,H,I	
ヒタキ	セッカ	<i>Cisticola juncidis</i>	留鳥	減少種				○	○	○	○	○	○	○			C,D,E,F,H,I	
	オオルリ	<i>Cyanoptila cyanomelana</i>	夏鳥						×								G	
エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>	留鳥		○		○										A,G,H	
	ヤマガラ	<i>Parus varius</i>	留鳥		○									○			G	
シジュウカラ	シジュウカラ	<i>Parus major</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ A,C,D,E,G,H	
	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ A,B,E,G	
ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>	留鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ A,B,C,D,G,H	
	カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>	冬鳥		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ A,B,H	
アトリ	アオジ	<i>Emberiza spodocephala</i>	冬鳥	希少種	○	○	○	○	○						○	○	○ A,B,F,G,H,I	
	オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>	冬鳥			×											G	
	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>	冬鳥			×	×										E	
	カワラヒワ	<i>Carduelis sinica</i>	留鳥		○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ A,B,C,D,E,F,G,H,I	
	マヒワ	<i>Carduelis spinus</i>	冬鳥			×											H	
ハタオリドリ	ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>	冬鳥		△	△											A	
	イカル	<i>Eophona personata</i>	留鳥		△	△	△	△								△		

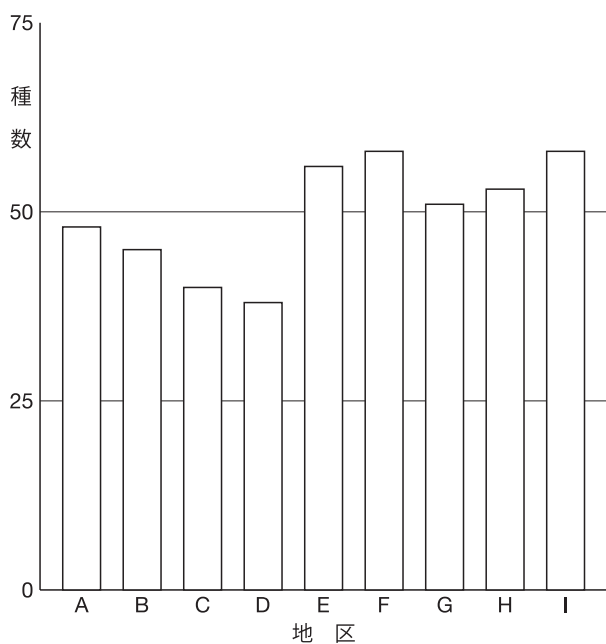
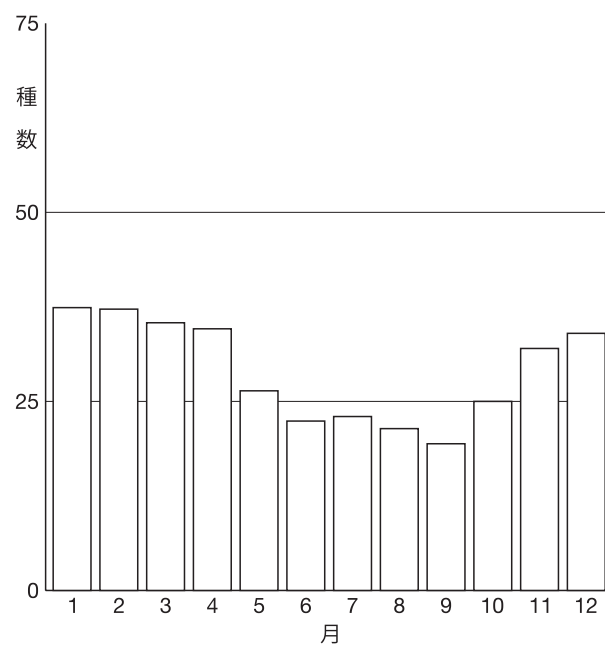
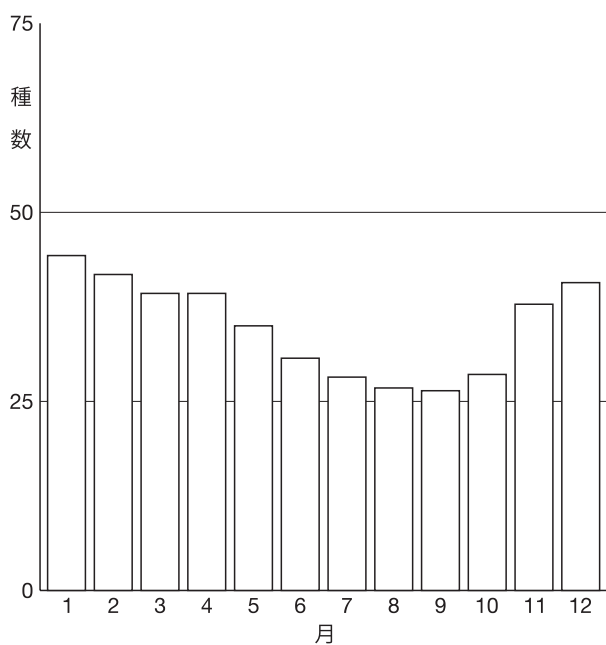
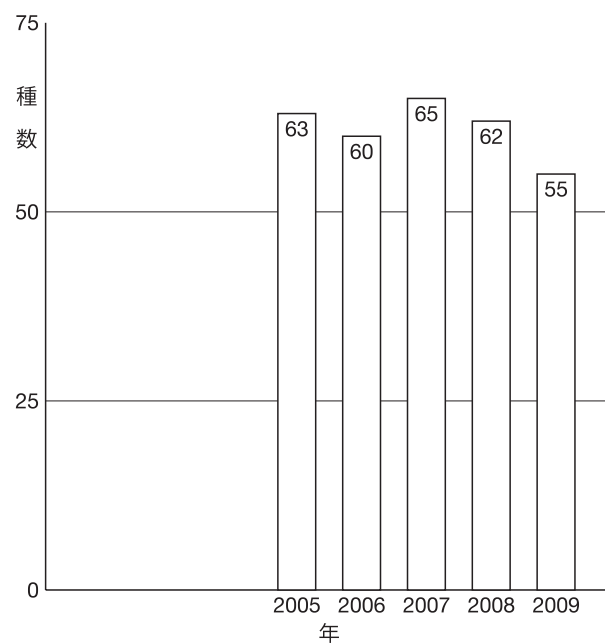
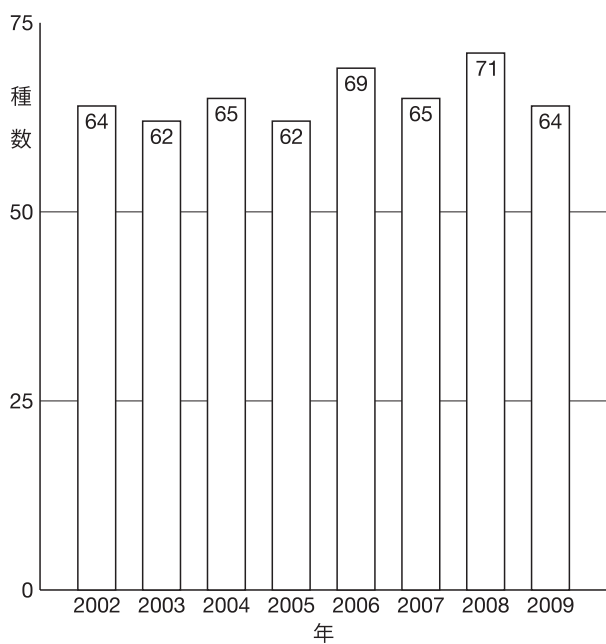


図 2 (左上). 酒匂川における年別の確認種数.
 図 3 (左中). 酒匂川における月別確認種数 (8 年間の平均).
 図 4 (左下). 地区別の確認種数.
 図 5 (右上). 狩川における年別の確認種数.
 図 6 (右中). 狩川における月別確認種数 (5 年間の平均).

表 2. 増減の大きかった種の年別確認個体数

	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
オオバン (酒匂川)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	20	13	16	16	26	34	98	96	74	130	88
オオバン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	5	0	18	39	54	49	35
タシギ	25	29	4	24	5	3	5	3	4	2	2	2	3	1	0	1	2	0	3	0	2	1	0	6	0	3	2
ホオジロ	2	5	+	+	50	10	10	30	10	10	30	10	10	4	+	5	15	+	10	10	20	15	30	7	20	11	20
アオジ	6	10	+	+	+	10	+	+	20	+	10	3	3	+	+	2	3	2	2	11	4	10	15	4	10	7	3
オナガ		2	7	5	0	2	1	6	10	20	10	30	0	15	3	0	2	0	10	6	1	6	6	8	2	1	7
カシラダカ	2	30	3	30	40	10	20	10	20	2	15	+	+	+	+	1	0	+	0	15	3	6	5	0	1	0	2
キジ	0	0	0	C	1	2	5	1	1	1	2	0	2	C	2	C	3	2	7	4	8	6	4	5	3	5	4
コジュケイ	C	-	C	1	3	1	C	2	2	0	5	2	C	C	C	0	C	0	0	0	0	0	0	0	C	C	C
ガビチョウ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	C	C	3	2	2

数字は各年の最大確認個体数を、+ は個体を確認したがカウントしていないことを、C は鳴き声を確認したことを示す。

9 月が最小であった (図 6)。調査区域毎では、I 区域が 58 種、H 区域が 53 種で、G 区域は 51 種であった (図 4)。確認個体数が多かったカモ類は、南足柄市相模沼田地先及び小田原市穴部地先及び酒匂川との合流点付近において群れを形成していた。日比野 (2006) によって確認された種のうち今調査期間中に全く確認できなかった種は、オシドリ、トモエガモ、シマアジ、ツミ、ハヤブサ、タマシギ、コアジサシ、アマツバメ、ヤマセミ、アリスイ、アオゲラ、ヒレンジャク、トラツグミ、サメビタキ、ツリスガラ、アトリ、ニュウナイスズメであり、確認個体数が減少した種は、タシギ、ホオジロ、アオジ、カシラダカ、オナガ、コジュケイであった。また、確認個体数が大きく増加した種は、オオバン、ガビチョウ、キジで、オオバンは 2001 年 11 月 24 日以降に確認し、生息区域を上流に拡大している (表 2)。

考 察

調査期間中、酒匂川水系では大きな増水がなく、河川内に植物が繁茂したこと、年間を通じて散策する市民が多くなったこと、堤防の草刈等都市公園的な利用・管理が進んでいることが鳥相に影響を与えているものと考えられる。酒匂川において 6～8 月に確認種数および確認個体数が減少したのは、アユ釣り、川遊びによる人の河川内への入り込みが影響しているものと推測される。一方で、クロサギ、コクガン を F 区域で確認しており、同区域の環境変化と鳥相に注目していくことが大切である。

狩川において減少が認められたタシギは、玉石、小石の河原が雑草の繁茂する状態へ変化したが、ホオジロ、アオジ、カシラダカは堤防や河川内の藪の減少が、それぞれ推測される。カモ類は H 区域の南足柄市中沼地

先から I 区域の南足柄市相模沼田及び小田原市穴部地先に移動したが、2009 年 3 月 I 区域の小田原市穴部地先で河床整理工事が行われ、カモ類の確認個体数が激減した。この区域の河川内の植生の回復との関係を継続的に観察することが必要である。

謝 辞

神奈川県立生命の星・地球博物館の加藤ゆき学芸員に調査結果の取りまとめ方などについてご教示をいただいた。謹んで感謝の意を表する。

引用文献

- 日比野義介, 2006. 狩川周辺の鳥類記録. 神奈川自然誌資料, (27): 51-57.
- 日比野義介, 2008. 狩川におけるカモ科鳥類の記録. 神奈川自然誌資料, (29): 69-71.
- 神奈川県松田土木事務所, 2011. 酒匂川の概要. 神奈川県. Online. Available from internet: <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f498/p6283.html> (downloaded on 2011-10-4)
- 加藤ゆき・浜口哲一・平田寛重・石井 隆・秋山幸也, 2006. 鳥類. 高桑正敏・勝山輝男・木場英久 編, 神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006, pp.233-264. 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原.
- 日本鳥学会, 2000. 日本鳥類目録 改訂版第 6 版. 345pp. 日本鳥学会, 帯広.
- 日本野鳥の会神奈川支部, 2002. 20 世紀神奈川の鳥 神奈川県鳥類目録 IV. 240pp. 日本野鳥の会神奈川支部, 横浜.

日比野義介：南足柄市和田河原 827